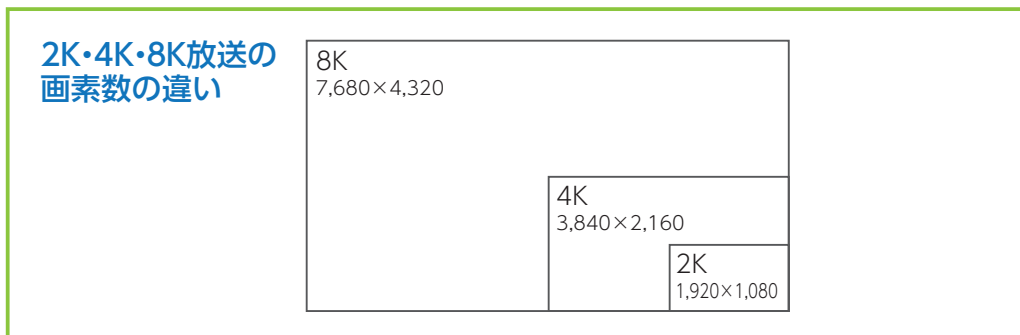




★4K・8K放送とは

4K放送とはTV表示パネルの画素数が、ハイビジョン(フルHD=2K)放送の解像度(横1,920×縦1,080画素)の**2倍**(横3,840×縦2,160)の高画質を追求した放送です。

8K放送は4Kの**2倍**で、さらなる高解像度(横7,680×縦4,320画素)としたものになります。



★4K・8Kの開始時期は?

2018年1月現在、4K放送を開始しているのは、CS放送のスカパーJSAT株式会社と一部のケーブルテレビとIPTV(光TVなど)になります。

BS放送や110度CSの新4K8K衛星放送は、現在試験放送を放送していて、2018年12月から実用放送開始予定です。

★4K・8Kの視聴方法

4K放送については各事業者の4Kチューナーと4Kテレビが必要です。一部の4Kテレビは、スカパープレミアムサービスの4Kチューナーが内蔵されています。2018年12月に向けて、BS放送の4Kチューナー内蔵テレビが発売される予定です。

8K放送については2018年12月に8K放送の実用放送開始予定です。現在放送されている試験放送は、全国のNHK放送局で視聴できます。BS舗装の新帯域を利用したサービスとなるため、BS放送の受信システムの改修が必要です。

集合住宅における改修工事

マンションの共聴設備でどこまで受信希望するかで、改修方法も異なり、改修費用も大幅に異なります。

4K・8Kのことなら、ECO PROJECTにお任せください!!

★従来帯域(2150MHz)

従来帯域で開始される4K放送は、BS・110度CSに対応しているマンションでは、大幅な改修などせず受信対応できると考えられます。(チャンネル数が増えることによる増幅器出力調整や増設が必要な場合があります。)各住戸では、BSチューナー内蔵テレビがあれば、接続してすぐ視聴可能となります。

★新帯域1(2643MHz)

パラボラアンテナは、左右旋円偏波受信対応へ交換が必要になります。マンションの混合器、分岐、分配器、増幅器、各戸のテレビ端子まで全て2643MHzの伝送に対応する機器への改修が必要になります。

★新帯域2(3224MHz)

3224MHzの伝送に対応する危機への改修と、最新のシステム改修が必要になります。伝送路尊質量が多くなるため、光ファイバー化などを含め検討が必要になります。